



Tsumagoi Village
つまごい恋村

第1回定例会 3月4日～14日

- ◇令和7年度一般会計予算 2
- ◇新年度予算を審査 4
- ◇各委員会の報告 6
- ◇一般質問は全員(議長以外)が登壇 8



発行
令和7年4月15日



東部こども園修了式

令和7年度一般会計当初予算 初日提案を撤回 再提案84億1,300万円を可決

第1回定例会

令和7年第1回定例会は、3月4日から14日の11日間の会期で行われました。

この中で、令和7年度の各会計予算、令和6年度の補正予算、条例の制定・一部改正、工事請負契約の変更など42件について審議し、全て可決され、陳情1件を不採択しました。

審議結果は、19、20、21ページに掲載しています。

令和7年度一般会計当初予算 編成方針との矛盾を指摘

村長から提出された令和7年度一般会計当初予算案について、議会では予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

昨年12月に、財政状況の悪化を最小限に抑えるため、サーラ孺恋の建設事業を最優先とし、その他の事業は予算の縮減、先送り、前年当初比で一般財源15%カットとする予算編成方針が示されていましたが、本会議初日に提案された予算案は84億9300万円（前年比200万円減）で財政調整基金等を大きく取り崩す予算編成となっており、委員からは、予算編成方針との矛盾や財政調整基金の減少による災害等への対応を懸念する意見、また、優先順位に基づき削減すべき予算を削減しなくては令和8年度以降の予算編成がより困難になる等の意見が出されました。

村長は、委員会での意見を受け、本会議第2日に当初予算案を撤回、ウエルネスリゾート事業やつまごい祭り補助事業など計17事業を減額し、総額84億1300万円（前年比8200万円減）とする予算案を再提出し、採決の結果、賛成多数（賛成9反対2）で可決されました。

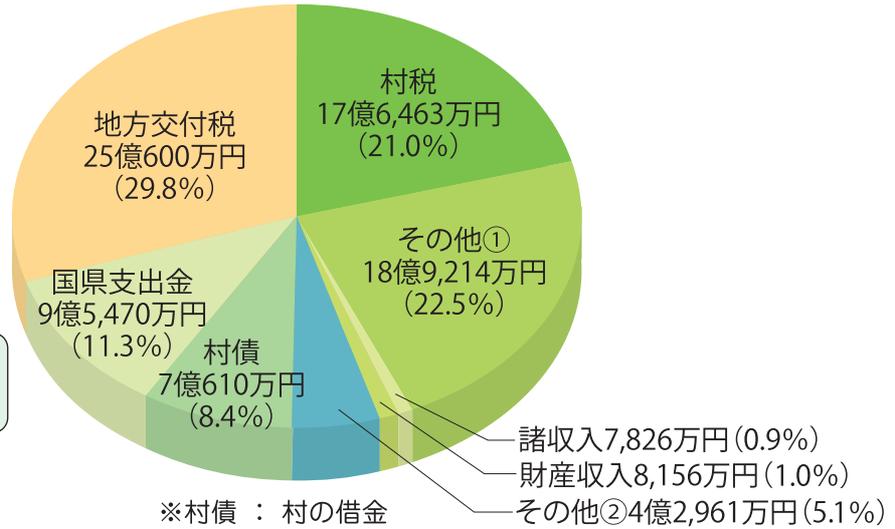


令和7年10月開館予定のサーラ孺恋

歳入

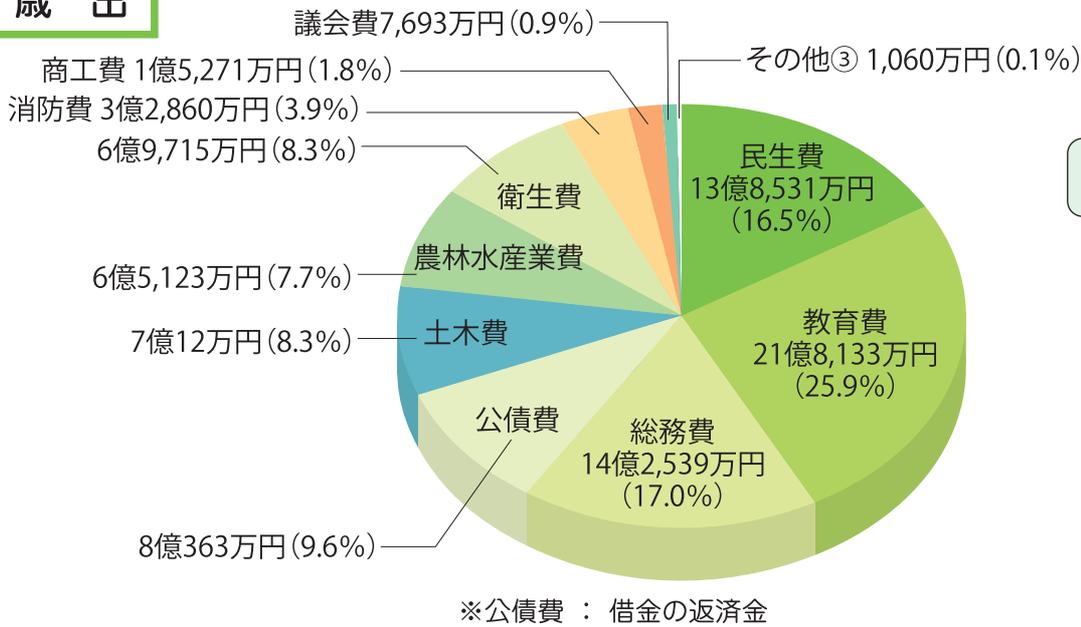
その他①
使用料及び手数料、寄附金、
繰入金など

その他②
地方譲与税、地方消費税交付金、
地方特例交付金など



歳出

その他③
予備費、災害復旧費



主な事業

情報政策推進事業	8,949万円	子育て世代包括支援センター事業	735万円
災害対策事業	2,699万円	子育て支援事業	905万円
消防施設整備事業	3,725万円	小規模農村整備事業	1億140万円
公共交通対策事業	2,980万円	孺恋村耐震改修促進事業（新規）	400万円
孺恋高等学校活性化対策事業	1,338万円	村道維持管理事業	1億1,413万円
ふるさと納税管理運営事業	1億8,470万円	橋りょう整備事業	7,552万円
地域おこし協力隊運営事業	1億378万円	観光施設整備事業	1,316万円
孺恋村企業版関係人口創出事業	264万円	有害鳥獣対策事業	3,979万円
国際交流事業	680万円	スクールバス運営事業	2億2,430万円
子育て支援拠点事業	1,052万円	新孺恋会館建設事業	12億638万円

予算審査特別委員会

令和7年度の 各会計予算案を審査

※質疑応答の一部

一般会計

総務費

問 浅間山火山防災協議会分担金が計上されていないが理由は。

答 令和7年度については、負担金は徴収せず活動することによって今回は計上していない。

問 財務書類作成業務委託料742万5千円が新規で計上されているが内容は。

るが内容は。
答 公会計の財務書類を作成し、公開することが義務づけられたことに伴う作成委託料になる。

問 国から義務付けられたとあるが、国からの補助等はあるのか。
答 この事業に関しては補助はない。

問 国際交流事業が昨年から比べ、大幅に増額されているが理由は。
答 別事業で計上していた会計年度任用職員の人件費を国際交流事業で計上していることが主な要因だが、その他に日本語教室の拡大を予定しており、講師への手当てを増額している。

問 シティプロモーション事業業務委託料760万円が計上されているが内容は。また、委託先は。
答 グランドデザイン作成の委託料となる。

問 JR吾妻線活性化関連の予算が計上されていないが。
答 渋川・吾妻地域在来線活性化協議会やJ

委託先はこれから選定予定となっている。

問 地域未来留学負担金165万円が新規で計上されているが内容は。
答 地域・教育魅力化プラットフォームへの負担金となる。嬬恋高校の学校説明会やウエブサイトでの学校紹介等をお願いする。

問 バラギ温泉センター事業について、歳入と歳出のギャップが非常に大きい事業に思うが、村の考えは。
答 歳出で3567万円、歳入で1400万円を計上している。利用率は高くないが、地元の方々、特に高齢の方々の利用は非常に多いと感じている。そうした方々のために、できる限りは続けていきたいと考えている。



全国募集が始まった嬬恋高校

また、歳出を極力抑え、収入を増やすことも考えていきたい。

農林水産業費

問 嬬恋村野菜集出荷施設補修費補助事業が計上されていないが廃止か。
答 廃止ではなく、様々なことを加味し、一旦休止とした。

問 キャラクター着ぐるみ購入費165万円の内容は。
答 嬬恋高校生に考えてもらったキャラクター



バラギ温泉 湖畔の湯

消防費

1の着ぐるみ制作になる。

問 消防団婦人消防隊活性化事業が前年比268万円の減額となっているが減額要因は。
答 細かい部分を少しずつ切り詰め、減額を行った。

教育費

問 スクールバス運営事業が増額となっているが、運営の見直し等はされているのか。
答 15路線運行していた路線のうち、隣り合う路線を統合し1路線減らすなどの見直しを行った。しかし、バスの運賃単価が徐々に上がってきており、予算としては増額となっている。

商工費

また、歳出を極力抑え、収入を増やすことも考えていきたい。

令和7年度各会計予算

▲はマイナス

会計名		令和7年度予算額	令和6年度予算額	対前年比	
一般会計		84億1,300万円	84億9,500万円	▲1.0%	
特別会計	国民健康保険特別会計（事業勘定）	15億7,851万円	16億1,340万円	▲2.2%	
	国民健康保険特別会計（直営診療所）	1,268万円	2,539万円	▲50.1%	
	介護保険特別会計	9億8,480万円	9億8,089万円	0.4%	
	後期高齢者医療特別会計	2億1,182万円	2億355万円	4.1%	
企業会計	上水道事業	収益的収入	1億8,758万円	1億8,658万円	0.5%
		収益的支出	1億8,758万円	1億7,673万円	6.1%
		資本的収入	1億3,420万円	2,000万円	571.0%
		資本的支出	1億6,643万円	1億1,073万円	50.3%
	簡易水道事業	収益的収入	1億6,133万円	1億3,489万円	19.6%
		収益的支出	1億6,133万円	1億3,597万円	18.7%
		資本的収入	2億2,185万円	9,876万円	124.6%
		資本的支出	2億6,223万円	1億4,503万円	80.8%
	下水道事業	収益的収入	4億7,448万円	4億6,820万円	1.3%
		収益的支出	4億7,448万円	4億3,963万円	7.9%
		資本的収入	6,353万円	3,837万円	65.6%
		資本的支出	2億3,326万円	2億3,331万円	0.0%

人権擁護委員候補者の推薦

村長から諮問された人権擁護委員候補者の推薦について、適格者である旨の意見を付けて答申しました。

○氏名
松本 源さん

○任期
法務大臣委嘱の日から3年間

請負契約の変更

変更契約1件を承認

○令和5年度 村道大
横川北山線 法面補
修工事
●契約の相手
上坂建設株式会社
●契約金額
変更前4889万5
千円
変更後5313万円

孺恋村カスタマーハラスメント防止条例を制定

カスタマーハラスメントを防止し、事業者が安心して事業を営むことができるよう基本的な事項を定める条例の制定について、全会一致で可決しました。対象は、官民を問わず、顧客等によるカスタマーハラスメントを禁止し、事業者等へはカスタマーハラスメント防止対策を講ずることを求めるものです。

一般会計補正予算の専決処分2件を承認

国の令和6年度補正予算成立に伴う低所得世帯支援給付金（非課税世帯）支給事業（4180万4千円）及び燃料購入費助成事業（4288万9千円）の実施に係る補正予算の専決処分を承認しました。

サーラ孺恋設置及び管理に関する条例を制定

令和7年10月1日開館予定のサーラ孺恋の業務や使用料等を定める条例の制定について可決しました。村内の利用団体の使用については、旧孺恋会館と同様で無料、電気代や冷暖房費については、物価高騰等を踏まえ、各1000円の値上げとなります。

令和6年度一般会計補正予算
1億1,457万円を減額 ▲は減額

- ・ふるさと納税管理運営事業 ▲3,250万円
- ・地域おこし協力隊運営事業 ▲3,266万円
- ・スクールバス運営事業 ▲1,300万円

全員協議会

今回の定例会で提案された議案の審議及び嬭恋村農産物等直売所運営協議会の報告などについて協議しました。

嬭恋村農産物等直売所運営協議会の報告

農林振興課より、「2月25日に嬭恋村農産物等直売所運営協議会が開催され、新指定管理者より、今後の運営方針について説明がされた。

新指定管理者からは、これまでと変わらず農産物直売所としての機



あさまのいぶき

能を果たすこと、冬期集客のために飲食部門を設け通年営業を無理なく行えるようにすること、地域交流拠点として農産物の販売や飲食にとどまらず、多くの人が触れ合う施設としての役割を果たすことを運営における3本柱とすることが説明された。

前指定管理者からの運営における変更点として、取扱商品を嬭恋村で生産された野菜・果物・加工品に限定、軒下を利用した販売、飲食スペースを併設することが提案された。

飲食スペースの併設に伴い、事務室を厨房に改修すると以前説明があったが改修費はどうなるのか。

新指定管理者が支払いを行う。

資産計上せず、指定期間終了後、村へ無償譲渡となると説明があったが。

浅間山ジオパーク推進協議会の一般社団法人化

交流推進課より、「現在、任意団体として運営されている浅間山ジオパーク推進協議会の一般社団法人化に向けて準備を進めている。

一般社団法人化への移行については、インボイス制度が導入されたことにより取引先から適格事業者移行への申し入れがあったことや、ユネスコから世界ジオパーク申請をするには法人化が求められ

るようになった等の経緯がある。

令和7年度に、現在の任意団体から一般社団法人に移行する手続きを進めていく」と説明がありました。



浅間山ジオパーク推進協議会

商品の搬入、引き取り方法や手数料などの出品者が行う手続きや精算方法等に変更はなく、これまで通りの出品が可能となる」と説明がありました。

未来創造課より、「令和6年12月17日に、(株)ヤマトにより申請を行っていた、再生可能エネルギー発電事業計画が認定された。

この認定を受け、今後、令和8年9月の発電開始を目指し、工事着工となる」と報告がありました。

総務文教常任委員会

・陳情1件を不採択

委員長：大久保守 副委員長：黒岩敏行
委員：伊東正吾、下谷彰一、佐藤鈴江、大野克美

陳情

ハラズメントから職員を守る群馬県民の会上田寿江氏から提出された、陳情第1号「政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情書」について審査を行いました。

委員会は、昨年12月定例会において、「実態調査を求める陳情」が嬭恋村議会において、採択されずアンケート調査が行われていないことから次の3項目について陳情が

ありました。

○議員による職員への政党機関紙の庁舎内勧誘行為は、庁舎内において原則禁止を確認すること。
○議員が庁舎内で政党機関紙勧誘を希望する場合は、行政の許可証を必ず申請することを義務付けること。
○議員から許可証の申請があり、行政が勧誘行為の許可、不許可の判断をする際は、職員の声をアンケート等を通して収集し、判断材料とすること。
総務課長から、規則により、個人や団体が物品の販売や勧誘等の行為をする場合は、事前に庁舎管理者の許可を得る必要があると説明がありました。

委員会では、職場で該当の購読者がいるか確認したうえで、当局が規則を遵守し、庁舎管理規則に従うべきとの観点から審査を行った結果、全会一致で「不採択」となりました。

産業建設常任委員会

・広域捕獲活動支援事業を報告

委員長：松本 幸 副委員長：黒岩智未
 委員：土屋哲夫、石野時久、土屋幸雄、伊藤洋子

令和7年度 広域捕獲活動支援事業の取組内容について

農林振興課より、「広域捕獲における令和6年度までの成果と課題について、令和5年度はニホンジカの捕獲計画数100頭に対し95頭を捕獲、村単独での有害駆除が224頭であったため、約300頭の駆除数となった。この駆除により、赤外線カメラ調査では、令和4年で56・6頭/km²と確認されていたが、令和5年では13・

4頭/km²まで生息密度の減少が確認された。令和6年度については、ニホンジカの捕獲計画数150頭に対し175頭を捕獲、村の有害駆除が294頭となった。

令和7年度においても広域捕獲やGPS・赤外線カメラを活用した調査を継続して行い、農場の被害、被害金額調査による効果検証も行っていくたい」と説明がありました。

そのほか、建設課より、「第四種踏切」について、群馬県の基本方針に基づき、可能な限り廃止または警報機と遮断機を備えた第一種踏切への転換が進められている。村内では西窪と袋倉に1カ所ずつあり、西窪の踏切は迂回路が整備できたことにより3月27日もって廃止、袋倉の踏切については協議が継続されていると報告がありました。

公共施設再編対策特別委員会

・貸付建物の活用状況を報告

委員長：黒岩敏行 副委員長：土屋幸雄
 委員：黒岩智未、佐藤鈴江、松本幸、大久保守

計画における取壊し対象建物の進捗状況について

各担当課より、計画において、取壊し対象建物となっていたが貸付を行ったため対象から除かれた施設の活用状況について、「いこいの広場については、木の伐採等がされ、冬期にスノーモービルの体験搭乗ができるイベントの検討がされている。旧平和不動産別荘建

物については、フィノス(株)に貸付をしており、最終的には森林体験交流施設「フィノスの森」として整備予定となっている。

現在、貸付を行っている建物の改修がされており、簡易宿泊施設を始めるとい報告を受けている」とそれぞれ報告がありました。

問 農村環境改善センターの敷地は借地であり、計画では借地の解消を方針としているが

目途は立っているのか。

答 具体的な目標が定まっていない。最小限の改修を行いながら、方向が出るまでは現状のままと考えている。

問 今井改善センターも取壊し対象としているが予定は。

答 地元からも不要ということと解体すべき建物となっているが先送りということでご理解いただきたい。

観光振興対策特別委員会

・キャベツマラソン申込受付を開始

委員長：伊藤洋子 副委員長：土屋哲夫
 委員：伊東正吾、下谷彰一、石野時久、大野克美

第17回嬭恋高原キャベツマラソンについて

観光商工課より、「今年の6月29日開催に向け、2月中旬から参加申込の受付を開始し、3月7日時点で982件の申込が既にされている。昨年からの変更点として、宿泊及びJＲ吾妻線利用の参加者特典は今年度から行わないこととした。また、携帯電話等の電波状況が

悪いということで、現在、最終調整中だが、移動通信車の手配を検討している」と説明がありました。

問 参加者特典変更の理由は。

答 予算面を見直す中で、経費削減を図った。

問 参加者特典としてクーポン券を配布していたが昨年の実績は。

答 約80枚となっている。

問 経費削減とのことだがマラソン大会補助事業自体は増額となっている。理由は。

答 シヤトルバスの運行費用が増額となったため、予算総額としては増額となっている。

そのほか、交流推進課より、「地域交流センター令和7年度イベント情報」について、説明がありました。

一般質問



伊東 正吾 議員

問 責任を持ち、緻密な予算組みを望む

村長 本村を継続していくためにも歳入と歳出のあり方を早急に検討したい

指定管理者募集のあり方

問 嬭恋村農産物等直売所あさまのいぶきの指定管理者の指定については、私も賛成票を投じた一人だが、審議の中では多くの意見が出された。

答 質疑の中で、当該議案は管理者の指定であり、事業内容は別という認識でよいか念を押したが当初提案された内容通りに準備が進められているように感じられる。
せめて進捗を議会へ報告すべきだったのではないかと。
答 農林振興課長 進捗状況の報告は、議会への説明責任を果たす

上からも重要と認識しており、3月5日に開催された全員協議会で「嬭恋村農産物等直売所運営協議会の報告について」説明を行った。定期的な議会への報告を行うことで、議員が状況を把握しやすくなるよう努めてまいります。

指定管理者公募について、不手際が多々あったように感じられる。今後の公募に関しては慎重に慎重を重ねるべきと思うが。

答 農林振興課長 意見や批判は真摯に受け止め、必要な改善を行い、今後は細心の注意を払い取り組んでまいります。

具体的などのよう募られるのか。

答 副村長 公募期間については反省材料として受け止めている。今後の改善に努めていきたい。

反対意見の大切さ

問 サーラ嬭恋建設事業は村の財政を圧迫させており、本当に必要なだったのか疑問がある。議会でも可決され、進められている事業ではあるが反対意見があったことは忘れないでいただきたい。

答 村長 旧嬭恋会館は建築基準法による耐震診断で、早急に何らかの対応をする必要があると結果が出ており、耐震補強を行う場合の費用やバリアフリー化、アスベストの問題等を考慮し、建て替えを行う方向で説明を行ってきた。

また、場所については、旧嬭恋会館が東部地区の防災拠点となっていたことや三原区からの強い要望があった。
問 各議員からは経費削減のための提案がされている。設計変更は途中でも可能と思うが

どのような考えか。

答 村長 工事進捗状況により手戻りが出るような変更については、発注者の責任となる。また、これまで投資した経費が無駄になってしまうことにもなる。現在のところ工事費の大幅増額につながる要因はないが、建設には多額の費用を要しており、議員ご指摘のとおり、ご意見等には真摯に向き合い、経費の節約につながるよう鋭意努力したい。

予算決定の難しさ

問 令和7年度一般会計当初予算の編成では、前年比15%減の方針が示されていたが、当初提案の予算は前年比200万円減であった。削るべき予算は多々あるはずであり、危機感の低さが現れた予算だと感じる。

答 村長 ご指摘のとおりと

おりと考えている。サーラ嬭恋建設事業において、12億円が必要となることから将来を考えると、大幅に歳出を削減しなければということ

で15%削減を掲げた訳だが、結果的に大胆な削減ができず、前年比ではほぼ同額という予算案を提示することになった。

令和8年度以降においても、厳しい予算組が見込まれており、本村を継続していくためにも歳入と歳出のあり方を早急に検討したいと考えている。

有るべき姿を求め

問 小さなデモクラシーを実践する村に真の意味で昇華させなければならぬと思うが。

答 村長 多数決や少数意見の尊重などにより、より民主的な村政を執行するべく取り組んでまいります。



一般質問

問 整備の結果、鎌原観音堂周辺はどのような場所となったのか

村長 本村の基幹産業である農業と観光の振興、雇用の確保及びエリアへの集客力向上に取り組んできた



土屋 幸雄 議員

鎌原観音堂の今後の取り組みについて

問 鎌原観音堂を核とした周辺整備計画により、各施設の整備等が行われている。また、郷土資料館では、地域計画が作成され、現在も発掘調査が進められているが、今度どのようにこのエリアが進んでいくのか見えてこない。

答 生死を分けた階段の見える化はいつ整備されるのか。核となる鎌原観音堂及び奉仕会に對しての対策はされないのか。

当初計画では、どのようなコンセプトとスケジュールで進めてきたのか。そして、その

結果どのような場所となったのか。

答 村長 令和6年度の発掘調査をもって、その成果を報告書にまとめ、報告書作成の準備費用や用地の測量図作成などの予算を盛り込み、文化庁への具申を予定している。

「国指定の史跡化」とその先の「保存活用へ検討」の段階を経て、「石段・延命寺・引湯道跡の整備計画の具現」というスケジュールを予定し、段階的に進めている。

また、周辺整備については、令和元年より地方創生交付金を活用しながら、鎌原観音堂をはじめ、地域交流センターや郷土資料館、農産物等直売所を整備することにより、総合戦略に掲げた基本目標の一つ「しごとづくり

に向けて本村の基幹産業である農業と観光の振興、雇用の確保及びエリアへの集客力向上に取り組んできた。

サイン整備により、新たな回遊動線が生まれたことにより、滞在時間の延長に繋げ、消費拡大に寄与する場所になることを目指す。

東部こども園を核とした子育て、高齢者支援共生広場の整備について

問 旧鎌原小学校校舎を改修し、現在は東部こども園として利用がされている。

しかし、利用されているのは園舎と園庭の一部であり、多くの土地が利用されず荒れ放題となっている。浅間山側の山林にはみどりの広場や西側には敷地内を流れる清川などあるが現在は整備がされていない。

そこで、こうした場所を整備し、こども園

を核とした子育て支援の広場として活用していくことはどうか。

答 子供連れの親子や高齢者など様々な世代の居場所として整備していくことを提案したい。

答 教育長 みどりの広場については、こども園PTAや老人クラブの協力をいただき、年数回の草刈りを行っている。また、園外学習、自然体験の場として、利用されている。

広場内にある、東屋と太鼓橋については補修を行う計画でいる。

清川については、園児が近寄ると危険性もあることから、通常は水を流していないが刈り払い等を行い、今後活用できるように検討したい。

だけなので、費用も大きくかからないと思うが考えは。

答 教委事務局長 木や草などは刈り払い、水を流さない分でも遊べるような場所にできればと考えている。

今後計画していきたい。

問 この整備がされれば、都会で生活している子育て世代に対して、広大な浅間高原の自然の中で子育てを実感できる場所になり、移住の促進になるのではないか。

一つの活用方法として、移住を希望する親子が実感できるように、保育園への体験入園を可能とする保育園留學制度を取り入れてはどうかと考えるが。

答 教育長 保育士の不足や財政的な課題もある。

今後、事業についての勉強や先進地の取り組みなど注視していきたいと考えている。

問 敷地内に川が流れているような園はほとんどないと思う。

こうしたことを売り文句にPRしていくことはどうか。

元々の形へ再生する

※質問・答弁は要約して掲載しています。二次元コードから全体版の動画を視聴いただけます。視聴にあたっては、嬭恋村議会ホームページ上の注意（免責）事項をご一読ください



一般質問



下谷 彰一 議員

問 今後の財政健全化に対する考えは

村長 物価や各種負担金が上昇を続けている中では更なる事業費の縮減、先送りが必要と考えている

基金残高の対策と今後の財政健全化の取組について

問 村長は常々、「入るを量りて出ざるを為す」と説明されているが、令和7年度予算を見ると逆に支出に合わせ収入を考えた予算編成に見受けられる。歳入は、文化会館建設基金の他に、財政調整基金と振興開発基金から繰り入れがされており、さらに不足分を一般事業債にて起債することとなっている。このままでは令和8年度の予算編成はより厳しくなることが予想される。そこで、現在の財政調整基金及び振興開発基金の残高を伺う。

答 村長 令和7年度予算において、財政調整基金については、4億4200万円取り崩すため、現時点では7億円だが、令和6年度決算による余剰金を積み立てるので、7億円よりは若干増える見込みである。振興開発基金は、4億円を取り崩すため、残高は10億円となる。

問 一般事業債は交付税措置のない借金だが、5億7千万円の起債は何年償還で利息はいくら支払うのか。

答 村長 借入は令和8年5月を予定しており、その時点での金利によるが現時点では15年返済、据置期間3年を予定している。

金利が上昇傾向にあるが、1・0%の場合には、5200万円、1・5%の場合は7900万円の見込みである。

問 サラ嬭恋の総工事費について、一般会

計からの持ち出しはいくらか。

答 村長 過疎債は合計11億8760万円で、この70%に当たる8億3132万円が地方交付税として入り、残り16億6868万円が持ち出しとなる。

問 予算編成方針では、「行政執行を経営と考える」とあるが、村長だけでなく、「オール嬭恋」でこの厳しい財政状況に取り組むべきと考えるが。

答 村長 税収の伸びが期待できない中、ふるさと納税を増やす努力が重要と考えている。担当課だけでなく、全職員で周知、宣伝に取り組んでいきたい。

問 現在の本村の最優先課題は将来を見据えて財政の健全化を図ることである。今こそ、「入るを量りて出ざるを為す」時だと考える。そこで、今後の財政健全化に対する考えを伺

う。

答 村長 歳入の増加が見込めない状況において、物価や各種負担金が増え続けている中では更なる事業費の縮減、先送りが必要と考えている。

サラ嬭恋の今後の維持・管理等について

問 サラ嬭恋は25億円をかけて建設予定の村の大型プロジェクトであり、多くの村民に利用していただける施設でなければならぬ。旧嬭恋会館は年間1万7100人が利用していたと説明があったが、電気や暖房代を含め、収入はどのくらいあったのか。

また、サラ嬭恋の収入の見込みは。

答 教育長 コロナ禍前は、約40万円で、サラ嬭恋は年度途中からだが、約50万円を見込んでいます。

問 年間維持管理料が約1900万円かかる見込みだが、管理費の節減対策は。

答 教育長 1900万円の内、約6割が光熱費、残り4割が保守委託費用となる。実際に運用が始まらないとわからない部分も多々あり、分析、検証を行い、節約に鋭意努力したい。

問 上田市にあるサントミューゼの館長は建設に伴い採用された職員とのこと。上田市へ職員派遣をし、ノウハウを学ぶことも検討すべきと考える。

または、経験のある人材を地域おこし協力隊で募集するなどが考えられるが、村の考えは。

答 教育長 専門的知識をもった人的配置は必要と考えている。会計年度任用職員の募集や地域おこし協力隊担当課と調整を図ってきたい。



一般質問

外国人が日本語能力試験でN2、N3を取得するための村の体制は

交流推進課長 嬭恋村国際交流協会において、日本語教室を開催している



大野 克美 議員

嬭恋村の財政危機について

問 財政危機になった大きな原因は、サーラ嬭恋の建設にある。村は過疎債を限度額まで使い、差額は財政調整基金等の基金を取り崩し充てられ、これにより財政調整基金等の残高を大きく減少させてしまっている。

答 今後、行わなくてはならない役場庁舎の建設やインフラ整備、吾妻一般廃棄物処理施設などこれから大金が必要となってくる。

これらの事業を行うためには、頭金の積み立てが必要であり、嬭恋村の財政危機の本質は、この頭金を生み出す

す力がないことにある。村長は、「入るを量りて出ざるを為す」とよく口にするが、自主財源を伸ばせなかった責任をどう感じているか。

答 村長 これまで基金残高は増加傾向にあったが、近年の災害復旧事業や投資的経費の増加に伴い、基金残高が減少に転じた。歳入の減少と歳出の増加との相反する状況が続く中で、サーラ嬭恋の建設が想像以上に高額となったことが財政状況を一層悪化させることになったと思っている。

今後は、歳出の削減を進め、基金残高を増やす努力が急務であると考えている。

問 自主財源の増加と交付税の関係は。

答 総務課長 地方交付税は普通交付税と特別交付税の二つあり、普通交付税の配分が94%、特別交付税の配分が残り6%となっている。

一般的に税収が1億円増えた場合、普通交付税は75%の7500万円が減額される。逆に税収が1億円減った場合は7500万円増額となる。

結果的には、税収が1億円増えても2500万円しか増えず、1億円減っても2500万円しか減らないということになる。

問 外国人の受け入れのモデル村について

答 嬭恋村が働く外国人にとっても、受け入れられる村にとっても、お互いが幸せを感じるこ

とができる村になる。

外国人を受け入れるモデルケースになる覚悟はあるか。

答 村長 外国人の受け入れは、本村の持続可能な発展にとって欠くことのできない課題であると認識している。雇う者と雇われる者のみならず、地域社会全体の協力と共生の意識が必要になってくる

と考えている。

外国人材から選ばれた村になるべく取り組みを着実に進め、多様な文化と共に成長できるように努力してまいりたい。

問 外国人が日本語能力試験でN2、N3を取得するための村の体制は。

答 交流推進課長 令和5年度から嬭恋村国際交流協会において、日本語教室を開催している。

内容は、日本語能力試験合格を目指すグループと、日常生活や社会活動で必要とされるコミュニケーション能力を身に着けるためのグループに分け、目的別に実施している。

今後、講師の募集を行い、受入体制が整い次第、実施回数を増やし、多くの外国人の要望に応えられるよう教室の拡充に努めていく。

問 定住する外国人が村のボランティアなどに参加する活動はあるか。また、そのための支援金等の考えは。

答 交流推進課長 ボランティアへの参加は、地域コミュニティの活性化、防災・安全対策の強化、相互理解の促進等において重要な意義があると考えている。

具体的には、行政区で実施しているコミュニティ活動への参加が挙げられる。

また、そのほかに嬭恋村国際交流協会において実施している各種事業に参加することもできる。

支援については、現状予定はないが、外国人の方々に有益となる情報の提供や日本語学習支援、交流イベントの開催などにより、ボランティア活動への参加も促し、ボランティア活動を含めた村内の生活が円滑に行えるよう引き続き支援してまいります。



一般質問



伊藤 洋子 議員

指定管理者制度の条例、規則を遵守することを求める

農林振興課長 今後においては、施行規則を遵守し、細心の注意を払い進めてまいりたい

指定管理者制度について

問 昨年12月議会において、「あさまのいぶき」の指定管理者が選定されたが、提案に対し、議会からの意見でいったん撤回した経緯がある。
そうした中で、この指定管理者制度を補充する観点からいくつか提案したい。
まず、公募に関して、規則による広報紙での周知がされていないが、この点についての当局の考えは。
答 農林振興課長 ご指摘のとおり広報紙への掲載がされていないが、今後においては、施行規則を遵守し、細心の注意を払い進めてまいりたい。

問 公募期間が1か月と短期間であり、応募を検討し、事業計画を作成するには一定の期間を必要とする。規則に募集期間を追加することを求める。
答 農林振興課長 類似案件の募集期間等を調査し検討したい。
問 協定書では、「指定管理者は本施設の設置目的に合致しかつ本業務の実施を妨げない範囲において、自己の責任及び費用により、自主事業ができるものとする」となっており、「村及び指定管理者は自主事業をするにあたって、別途の自主事業の実施条件等を定めることができるものとする」となっている。
昨年12月議会で示された事業案や図面は村が認めたとしてよいのか。
答 農林振興課長 12

月議会での議決後に、指定管理者との協議を実施し、業務計画書の提出を受けた。
議員ご指摘の資料は、指定管理者選考に係るプレゼン資料であり、協定書に規定する事業計画とは異なる。
問 協定書の「本業務の実施を妨げない範囲」を村が具体的に決め、公募の内容に記すことを求めたい。
答 農林振興課長 規定する妨げない範囲とは、社会通念上許される範囲と認識している。公募の段階で、どのような方が応募するか予想できないことから範囲を具体的に示すことは難しいと考えるが、類似の案件等を調査し、検討したい。
教職員の働き方について
問 教師の長時間労働や不足状況がマスコミで報道されており、

病休や早期退職の背景には業務の増加や多様化、複雑化があるとのこと。
現在、村内の小・中学校で何らかの理由で担任不在のクラスは生じているか。
答 教育長 けがによる病気休暇で1学級に不在が生じている。
問 どのような対応策を講じているか。
答 教育長 校内組織における特配や教務主任、教頭等で補っている。学習内容や進度については、同学年の担任が同歩調にて進めている。
問 教職員の残業・過密労働実態を把握されているか。
答 教育長 県教委が提供している「在校等時間記録ファイル」により行っており、時間外勤務等に課題や問題のある教職員については、所属長がその原因

を検証し、改善を図ることとなっている。
問 勤務時間内に翌日の授業準備の時間はないのか。
答 教育長 中学校では、多くを空き時間において、小学校では、放課後において、いずれも1時間から2時間程度となっている。
問 勤務時間内に法定の休憩時間をとれているか。
答 教育長 定められた時間にしっかりとることはできないのが現状だが、多くの学校が2交代制や3交代制等とりやすい方法を工夫するよう努めている。
問 働き方の詳細を把握するために教職員へのアンケートを行うことを提案したい。
答 教育長 方法の一つであると考えますが、まずは「在校等時間記録ファイル」の更なる活用に努めたい。

※質問・答弁は要約して掲載しています。二次元コードから全体版の動画を視聴いただけます。視聴にあたっては、嬭恋村議会ホームページ上の注意（免責）事項をご一読ください



一般質問

問 役場庁舎に嬭恋会館の機能を持たせ、2つの施設を1つにする方向性はなかったのか

村長 当時、その考え方はなかった



黒岩 智未 議員

公共施設再編計画について

問 役場庁舎及び旧嬭恋会館が耐震基準を満たしていない状況下において、本村は、旧嬭恋会館の建て替えを先行して行い、今年完成することとなっている。今後の取り組みとしては、未だ耐震基準を満たしていない役場庁舎の耐震補強または建て替えが取り上げられている。しかしながら、サーラ嬭恋の建設費増大により本村の財政は極めて厳しい状況に陥り、役場庁舎の耐震補強または建て替えについて見通しが立っていない。予想することが困難

な大地震の発生に際して、行政は迅速に対応し、村民の命と財産を守る義務があるが、対策本部を役場庁舎内に設置することさえできないという危険な状況が続いている。

こうした状況下において、役場利用者や職員の安全をいかに守っていくか。また、役場庁舎については、耐震補強と建て替えのどちらを想定し、その財源をいかに確保していくのか。

答 村長 地震などで庁舎が使えなくなった場合には、大前活性化センターに災害対策本部を設置することとなっている。

また、住民サービスはできる限り継続していかなければならないが、吾妻郡6カ町村において、「災害時等における吾妻郡内町村相互の応援に関する協定」を結んでおり、食料、飲料水、資機材、避難所等の提供、また職員、

ボランティアの派遣等が含まれている。

しかし、役場庁舎は村にとって最重要の拠点であり、安心できる建物をなるべく早く整備しなければならないと思っている。

財源については、毎年の収支の中から、庁舎整備基金に積み立てをしていかなければならないと考えている。

問 役場庁舎に災害対策本部が設置できない状態になった場合、大前活性化センターに設置するとあるが、対策本部設置の準備はしてあるのか。

答 村長 避難所としての準備や連絡体制は整えられている。令和元年の台風19号の経験もあるため、全く準備がない訳ではない。

問 役場で働く職員や来庁される村民は常に命の危険にさらされている。財政状況が厳しい中、庁舎の建て替え

ではなく、耐震補強に変更する考えは。

答 村長 当時の議会と協議し、建て替えの方向で進めるとした経緯がある。

この場で即答はできない。

問 計画では、役場庁舎建て替えは来年の予定となっており、仮に5年後でも建て替えはできないと思うが、それまでこのままの庁舎でよいとは思えない。村長の考えは。

答 村長 ご指摘の通り、すでに計画が遅れており、早くても7から8年後と現状では想定している。

危機管理上の観点からの質問であると思うが、今ここで耐震補強を検討するとは述べられない。

大きく考え方を変えなくては、トンネルの出口は見えてこないと考えている。

問 旧嬭恋会館の建て替えを検討する時に、庁舎に会館機能を持たせ、2つの施設を1つにするという方向性は当時なかったのか。

答 村長 当時、その考えはなかった。

問 サーラ嬭恋において、議会から削減案が出されるが当初設計のまま進められてきており、村民と一体で進んでいるとは思えないが、村長の考えは。

答 村長 手順を踏み、積み重ねの中で現在があると思っ

問 今後、公共施設の建設等を行う場合は、アンケート等により、村民一人一人の意見を聞いてほしいと思うが検討していただけるか。

答 村長 十二分にしていきたいと思う。



一般質問



土屋 哲夫 議員

問 信号機の設置を含め、安全確保について強く要望するべきと考えるが

村長 必要な対策については地元及び関係者の意見を伺いながら、関係機関と協議を行っていききたい

国道144号線と村道大前細原線等の道路改良工事に伴う交通安全対策について

問 国道144号線とJR大前駅方面からの村道大前細原線、役場裏通りの村道大前5号線との交差点周辺で工事が行われている。この工事により、今までの急なカーブや鋭角な交差点が解消され、通行しやすくなるが、新交差点は国道中央に右折レーンが新設されるうえ、交わる二つの村道の幅員が異なるため、変則の四差路となる。

そのため、大前駅方向と役場裏通り方向へはこれまでの2倍近い距離となった国道を渡るしなければならず、自動車の横断はもちろん、歩行者の横断も一層の危険が伴う。更に西窪方面からの車両は西日があたり、視認性に支障が生じる状況でもあり、直線化による速度の上昇は安易に想像され、増大する危険に対し、更なる交通安全対策が必要不可欠である。この交差点は、地元住民はもとより社会福祉協議会の福祉車両や、改善センターの利用者の多くが利用すること、役場職員駐車場入口になっていることなどの事情を鑑み、村も当事者として県、警察、公安委員会等に対し、信号機の設置を含め、安全確保について強く要望するべきと考えるが、

答 村長 信号機の設置については、道路の線形改良に伴い、視認性が向上し、安全制も増すとの判断から、当初から計画に入っていない。

また、信号機設置については、「信号機設置の指針」が定められており、照らし合わせると設置は難しいと感じる。しかし、議員ご指摘の通り、懸念事項であることも確かであり、地域の安全確保の観点からも必要な対策については地元及び関係者の意見を伺いながら、関係機関と協議を行っていききたい。

問 役場の出口にカーブミラーなど、車両の接近が確認できる設備の設置は予定されているか。

答 建設課長 以前と同じ場所に設置を依頼してある。

自主財源増大を目指す施策について

問 現在、嬭恋村では今後の村のあるべき姿を示すグランドデザインの策定が進められている。村の将来を見据えたとき、より多くの

安定した自主財源を確保することが重要で、そのためには地域の特性を生かしつつ、将来的に税収、雇用機会の増加や地域経済の活性化も期待できる投資的施策を実施すべきと考える。

上信自動車道の整備を見据え、大型の道の駅の設置や特性を生かした工業団地の造成、消費態様の変化に対応するための野菜加工施設など、本村の特性にあった産業を集積させるなどによって地域のブランド価値が高まり、さらなる投資や観光客の誘致につながることを期待される。

天災が少ないことや冷涼な気候など村のポテンシャルは決して低くはないと考えるが、当局の考えは。

答 村長 道の駅の設置については、今後、上信自動車道の整備計画が具体化していく中で、最適な場所に設置

できるよう検討してま

また、農産物加工施設の提案もあったが、上信自動車道は流通面で村を大きく発展させることができると考えている。雇用増加や農産物の販路拡大が期待できるので、ぜひ民間主導で取り組んでいただき、村としても支援をしていきたい。

気候や景観を含め、あらゆる観光資源、地域資源を有効活用し、豊かな村づくりを進めてまいりたいと考えている。

問 村のブランド力を高め、産業と経済の発展につながるためには、それらを支援する施策や仕組みを構築し、グランドデザインに組み込んでいくべきと考えるが。

答 村長 第一次産業を守るためにも、中期の産業について考えていく必要があると思



一般質問

問 土木費や農林水産業費を大きく減額されているが、村民からの要望に対しての対応は

建設課長 限られた予算の中で応えていければと考えている



大久保 守 議員

バイナリー発電について

問 2月4日に行われた山本知事の記者会見で、「草津町において未利用の温泉熱を活用し、温室効果ガスの排出が少ないバイナリー発電の導入可能性調査をしたい」と発言があった。

バイナリー発電は、地熱発電の1種で、わずか70℃程の温泉水や温泉熱で蒸気を発生させ発電させるものである。嬭恋村ではいち早く地熱発電に注目し、研究を行い、事業開始目前で、草津町より批判を受け、断念した経緯がある。これにより、村長は、

初当選以来の公約であった地熱発電について、在任中に行わないと発言されている。

こうした経緯がある中、今回草津町で実証実験を行うということであるが、村長の思いや考えについて伺う。

また、温泉熱の利用等で行うバイナリー発電は魅力に思う。再生エネルギーの普及拡大が叫ばれる中、村長の考えは変わらないか。

答 村長 草津町の実証実験着手は、再生可能エネルギーの導入や地域資源の有効活用の観点から、大変意義のある取り組みと認識しており、本事業の成果は嬭恋村を含む周辺地域にとっても大変重要な参考事例になる。村としても、地域のエネルギー自給自足率の向上の可能性について、引き続き取り組んでいきたい。

問 バイナリー発電であれば、やってもいい

という思いか。答 村長 やるとは言えないが勉強はする必要があると思っている。

令和7年度予算について

問 令和7年度一般会計当初予算について、予算編成方針ではサーラ嬭恋建設事業の事業費増大を受け、前年比15%カットが示された。提出された予算と財政状況を鑑み、議会から意見が出され、撤回、再提出を経て、可決となった。

修正した予算では、「つまごい祭り」や「賀詞交歓会」、「キャベチュー」など大金を要しないイベントの事業もカットされているが意図は。答 総務課長 例年どおりの消耗品や光熱費の削減だけでは総額を減らすことができない状況の中、事業単位で休止、あるいは廃止を行う判断をした。

村民が楽しみにしている行事なので、早期に復活していきたいと考えている。

問 「賀詞交歓会」や「キャベチュー」は予算が計上されていないにもかかわらず実施できるのではないかと思うが。

答 総務課長 事業の実施方法を見直す中で実施することも検討したいと考えている。

問 土木費や農林水産業費を大きく減額されているが、村民からの要望に対しての対応は。答 建設課長 限られた予算の中で応えていければと考えている。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税事務手数料はどの程度支出しているのか。答 未来創造課長 事務手数料については、「さとふる」をはじめとするポータルサイト

利用料（10サイト）として、約1900万円、クレジットカード決済等の手数料として、約250万円、中間管理事業者への業務運営委託で1500万円弱で、これらの事務経費に返礼品の調達に係る費用を含め、約9690万円となっている。省の定める5割程としている。

問 人的負担軽減のため、運営業務は外部委託しており、経費は総務省の定める範囲内だが、コスト削減は課題だと思ふ。答 建設課長 限られた予算の中で応えていければと考えている。

そこで、県内町村が連携し、運営業務を共同化するための組織設立を提案してはどうか。現在、村長は群馬県町村会長を務めている。この機会に、共同運営によるコスト削減と効率化について、各町村へ検討を促してはいかがか。

答 村長 勉強はしてみたいと思ふ。



一般質問



黒岩 敏行 議員

問 村有施設を総合的に管理、運営する新たな組織の設置が必要と考えるが

村長 みんなで知恵を出し合うシステムをつくり、6月議会には報告できるように考えたい

吾妻線の今後について

問 JR東日本高崎支社から「JR吾妻線(長野原草津口・大前間)沿線地域の総合的な交通体系に関する議論の申し入れ」があり、参加を表明してからおよそ1年が経過する。吾妻線は嬭恋村にとって、貴重な移動手段であるが、NHKや日経新聞の記事によると長野原草津口・大前間の赤字額は4億9400万円と報じられており、JRにとって見過ごすことのできない赤字額となっている。これらの実情から、先行きに不安を抱く村民も多いが、協議会で

の協議内容を公開することは可能か。
答 未来創造課長 検討会議の開催の都度、閉会後に記者会見を開催している。協議内容については、翌日の新聞報道等により公開しているとおりであります。

問 村民の関心は非常に高いと思う。村独自に、結果のみではなく、開催の予定等も含め周知した方がよいと考えるが。

答 未来創造課長 必要な情報については、長野原町と足並みを揃え、公表していきたいと考えている。

問 全村民に対し、意識調査等を行う考えは在のところ予定しているか。

答 未来創造課長 現在、村として、今後の吾妻線の存廃をどのように考え、協議会に参加しているのか。

答 未来創造課長 検討会議への参加を了承したことにより、存続、廃止という前提を置かず、国、県、有識者の指導をいただきながら、長野原町と協力して利用者にとって利便性が向上する交通体系の検討をしていきたい。

問 現在、任意の協議会が開催され、その中で作業部会を設置するとされており、最終的に法定協議会へ移行するという不安もあるがいかがか。

答 未来創造課長 作業部会を経て、検討会議の意見をまとめ、その後、決定権のある組織の立ち上げになる。法定組織を飛び越え、法定協議会へ移行することはない。

問 今年8月に25億円をかけ、サーラ嬭恋

が予定通りの完成を迎える運びとなった。また、鎌原観音堂を中心とした周辺施設及び陸上トラックのタータンの張り替え整備が終了した大笹の運動公園など、多額の費用をかけて完成に至った施設がある。

問 今後、村有施設を総合的に管理、運営する新たな組織の設置が必要と考えるが、村の考えは。

答 総務課長 現在、運動公園は教育施設として管理していることから経営面を重視しない運営となっており、サーラ嬭恋においても維持管理費が懸念されつつある中、利用者を増やし、使用料も増やす取り組みが欠かせないと考えている。

問 今年8月に25億円をかけ、サーラ嬭恋村有施設の有効活用について

答 村長 管理・運営については、みんなで知恵を出し合うシステムをつくり、6月議会には報告できるように考えたい。

答 未来創造課長 検討会議への参加を了承したことにより、存続、廃止という前提を置かず、国、県、有識者の指導をいただきながら、長野原町と協力して利用者にとって利便性が向上する交通体系の検討をしていきたい。

問 今後、村有施設を総合的に管理、運営する新たな組織の設置が必要と考えるが、村の考えは。
答 総務課長 現在、運動公園は教育施設として管理していることから経営面を重視しない運営となっており、サーラ嬭恋においても維持管理費が懸念されつつある中、利用者を増やし、使用料も増やす取り組みが欠かせないと考えている。



一般質問

問 上信道完成時にただの通過点とならないためにも、ランドデザインは重要と考える

副村長 ストロウ現象については、一番危惧している。真剣に考えてまいりたい



本村 幸 議員

地方創生事業について

問 昨年12月議会でも質問をしたランドデザイン策定の件で、いろいろなゾーンで集約し開発するものとなっているが、目的は役割庁舎の建設を細原地区にしたがために計画を策定しているのではないかと推察したくないか。

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 予算審査特別委員会でも同僚議員より意見が出されたが、策定業務については、業務委託をし、丸投げとなっていないか。

答 副村長 策定の業務委託はするものの職員が策定に参加することにより基本的な構想を検討し、併せて専門的な知見が必要な部分について委託業者が行うことを考えている。

問 予算審査特別委員会でも同僚議員より意見が出されたが、策定業務については、業務委託をし、丸投げとなっていないか。

答 副村長 策定の業務委託はするものの職員が策定に参加することにより基本的な構想を検討し、併せて専門的な知見が必要な部分について委託業者が行うことを考えている。

問 グランドデザインの策定は今後の村のあり方を方向づける重要な案件だと考える。ゾーン設定のメリットは。

答 副村長 ゾーンを設定することにより、地域の構造を体系的に整理し、目指すべき理想像に基づいた土地利

用や開発の方向性を示すとともに、地域社会の全体のニーズを考慮しつつ、個別のニーズに対応でき、また、住民や関係団体の意見を集約しやすくなることも計画策定の透明性や納得感を高めることができるかと考えている。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 最も重要だと考えているのは、上信自動車道が完成した時、どのくらいの車が嬭恋村で降りるのか。ただの通過点にならないために

答 副村長 議員ご指摘のストロウ現象については、我々も一番危惧している。真剣に考えてまいりたい。

問 一般質問に対しての回答が「検討する」となっている質問に対し、毎年9月議会でも検討結果について回答をいただければと思うがいかがか。

答 副村長 毎定例会毎に各課で議会からの意見や提案に対し、どう対応するかを課長会議で協議している。意見や課題に対する今後の対応策をまとめた資料を作成している

問 この計画策定の業務は委託されているのか。

答 副村長 策定業務は委託されている。

問 未来創造課長 策定過程については、職員と住民の代表者が加わり、委託業者が最終的にまとめたものにな

問 検討結果の報告を受けらることで、議員の一般質問の質も更に高められるのではないかと考える。ぜひお願いしたい。

答 総務課長 今回の一般質問の結果を踏まえ、次の課長会議で、今後どう対応するか協議を行い、進めたい。

問 未来創造課長 基

答 副村長 基

問 未来創造課長 策

答 総務課長 今回

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 この計画策定の業務は委託されているのか。

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 この計画策定の業務は委託されているのか。

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 この計画策定の業務は委託されているのか。

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 この計画策定の業務は委託されているのか。

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 この計画策定の業務は委託されているのか。

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 この計画策定の業務は委託されているのか。

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 この計画策定の業務は委託されているのか。

答 副村長 策定については、役場庁舎の建設のみならず、上信自動車道の完成に伴い、村内においての交通流動が将来的に大きく変化の中で、今後、村内の持続的な発展に大きな影響を持つと予想される整備予定のインターチェンジ周辺や嬭

恋村内の地域拠点の整備のあり方について検討を行うものである。

問 第6次嬭恋村総合計画後期基本計画(案)が示され、6つの基本目標が掲げられており、目標の一つに「安定感の中にも先進性のある産業の村づくり」とあるが、具体策は盛り込まれているのか。

答 副村長 基

問 この計画策定の業務は委託されているのか。



一般質問



石野 時久 議員

チーム担任制の検討を

教育長 対象学年で選択・導入を検討している

今後の役場庁舎について

問 サララ嬭恋は今年8月完成に向け、工事が進められており、今後は役場庁舎の建て替えになるかと思うが、現時点では場所の選定もされておらず、資金についても用途が立たないのが現実だと思う。さらに、吾妻一般廃棄物処理施設の建設は避けられないことであり、その負担も予定しておかなくてはならず、庁舎建て替えは当分の間、実現は難しいと考えるが、村の考えは。

また、長期的に建て替えが見込めないのであれば、耐震補強を検討

討する必要があるのではないかと。また、給排水設備や電気設備などの老朽化もかなり進んでおり、公共施設個別施設計画では建て替えとしている。

答 村長 平成24年度に耐震診断を行った結果、「補強する必要あり」と判定がされている。当時の概算では、直接工費が2億円を超える額であったが、その後13年が経過し、物価高騰が続く現在では相当な費用が見込まれる。

問 吾妻一般廃棄物処理施設の金額はまだ示されていないが相当な金額になると予想される。

既に、耐震診断の結果が出されてから、10年以上が経過しており、以前の協議の中で建て替えの方向で計画をしたのはわかるが、本当にそれでいいのか検討

小中学校の担任制と教員の働き方改革について

問 小中学校の学級運営は、一つの学級に対し、一人の教員が担任するスタイルがスタンダードだが、近年、学級担任を一人に固定しないで複数の教員で担ったり、学級担任という枠組みを外して学年全体を複数の教員で対応するチーム担任制という新たな取り組みが増えている。

これは、子どもや保護者のニーズの多様化への対応や教員の負担軽減、子どもと教員の相性問題の解消につながるのと、デメリットもあるようだが

しながら、計画をしていただきたい。

答 村長 中期の財政計画をしっかりと見直し、議会にも提示し、村民の意見を確認しながら進めていきたい。

嬭恋村においても検討する価値はあると思うが、いかがか。

答 教育長 チーム担任制について、そのメリットや効果が発信されていることは承知しているが簡単に実施できるものではなく、学級編成に係る制度や教員の配置等により、その可否が決まる。

令和7年度、群馬県教育ビジョンで推奨する「少人数学級編成」及び「弾力的学級編成」について、選択可能となる対象学年は、村内3校の内、1学年のみだが、この対象学年でいわゆるチーム担任制の選択・導入を検討している。

問 人間関係などに起因した精神疾患等での退職、退職はあるか。

答 教育長 退職者が1名となっている。

問 小学校高学年では、一部の教科において教科担任制に取り組まれているようだが、令和7年度からは3、4年生にも拡大するとのことである。

今後の方針について伺う。

答 教育長 現在、5、6年生では、多くの学校が教科担任制を前向きに導入する状況が見られ、3、4年生においても、同じくその効果が大きい期待される場所がある。

いずれにしても、「教科担任制導入の明確なねらい」はもちろん、学校規模や学年学級の実態、教職員の数や構成等、総合的に判断することが重要と考えている。



議案の審議結果

議案名	賛 成	反 対	議決 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
				黒 岩 智 未	土 屋 哲 夫	伊 東 正 吾	下 谷 彰 一	黒 岩 敏 行	石 野 時 久	佐 藤 鈴 江	土 屋 幸 雄	松 本 幸	伊 藤 洋 子	大 久 保 守	大 野 克 美
嬭恋村職員の給与に関する条例の一部改正 ----- 人事院勧告による国の給与法の一部改正に準じ、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正 ----- 人事院勧告による国の給与法の一部改正に準じ、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 ----- 人事院勧告による国家公務員に関する法律の一部改正に準じ、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 ----- 人事院勧告による嬭恋村職員の給与に関する条例の一部改正に準じ、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ----- 人事院勧告による国家公務員に関する法律の一部改正に準じ、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正 ----- 人事院勧告による国家公務員に関する法律の一部改正に準じ、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の一部改正 ----- 人事院勧告による国家公務員に関する法律の一部改正に準じ、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 ----- 特別職非常勤職員に該当するサーラ嬭恋運営協議会委員について、報酬の支払い及び費用弁償を行えるよう条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ----- 栄養士法が改正されたことに伴い、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理 ----- 刑法等の一部を改正する法律の施行により、懲役及び禁錮が廃止され、これらに代えて新たに拘禁刑が創設されることから、関係条例の一部を改正するため制定。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
サーラ嬭恋設置及び管理に関する条例の制定 ----- 地方自治法第244条の2第1項に基づき、設置及び管理に関する事項を条例で定める必要があるため、条例を制定。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村公民館設置及び管理に関する条例の一部改正 ----- 公民館の所在地を修正するため、条例の一部を改正。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
嬭恋村職員の配偶者同行休業に関する条例の制定 ----- 地方公務員法に基づき、条例を制定。	10	1	可	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×
陳情第1号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情書 ----- 総務文教常任委員会の審議結果(不採択)に対する採決。	9	0	可	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	欠

※ 可・・・可決、否・・・否決、○・・・賛成、×・・・反対、欠・・・欠席、退・・・退席

※ 議長は採決に加わりませんので、「—」で表示しています。(議長 7番 佐藤 鈴江)



あさまのいぶきが リニューアルオープン

嬭恋村農産物等直売所あさまのいぶきが4月1日にリニューアルオープンしました。

議会では、オープン初日に現地視察を行い、管理者より運営方針や併設された飲食スペース、軒下を利用した販売などについて説明を受けました。

議 会 日 誌

2月

- 17日 第1回全員協議会
- 25日 第1回議会運営委員会

3月

- 4日 第1回定例会本会議（開会）
第2回全員協議会（第1日）
- 5日 全員協議会（第2日）
予算審査特別委員会（第1日）
- 6日 予算審査特別委員会（第2日）
- 10日 第2回議会運営委員会
本会議（第2日）
予算審査特別委員会（第3日）
第1回総務文教常任委員会
第1回産業建設常任委員会
第1回公共施設再編対策特別委員会
第1回観光振興対策特別委員会
- 13日 本会議（第3日）
- 14日 本会議（最終日）
第1回議会広報編集委員会

4月

- 2日 第2回議会広報編集委員会
第3回議会運営委員会

質問

財政調整基金とは？

回答

自治体が財源に余裕がある年に積み立て、経済事業の変動等による減収、災害により生じる予期せぬ支出や減収など、財源が不足する年に取り崩すことで調整し、計画的な財政運営を行うための地方公共団体の基金で、一般家庭の預貯金に相当します。

今回の令和7年度一般会計当初予算では、各事業に充当するため、4億4,264万円が取り崩されています。

● 議会を傍聴してみませんか。 ●

傍聴の手続きは簡単で、傍聴当日に議場の傍聴人受付票に必要事項を記入し、投函していただくだけです。ぜひ、傍聴してみてください。

次回定例会の予定／

令和7年6月3日(火)～13日(金)
午前10時開講

編 集 後 記

今年も早いものでお正月を向かえたと思いましたが、もう3か月が過ぎようとしております。議会も令和7年度の予算審査の月です。当局は今年度の目標として昨年度当初予算の15%カットで組みたいとの話でありましたが、提出してきたものは200万円程度のカットでありました。あまりにも実効性のない予算組であり、議会側から再検討するようにとの意見のなか、取下げし、再提出してきたのであります。その内容は、「つまこい祭り休止・賀詞交換会休止・シンガポールへの出張者の中止」等でありました。村民の楽しみにしているものまで中止や休止であります。

今、村は基金残高が減りつつあります。その一因としてサーラ嬭恋（旧嬭恋会館）建設費が予定よりも約7億円超過した物になっており建設費は25億円という事になっております。建物自体が収益を生む物でもありませんので、完成後管理費で年間2000万円程掛かるとの事です。多くの方々の利用を望む所であります。

農作業もいよいよ始まり出しました。今年度が良い1年になりますよう、祈念しております。

議会広報編集委員会

- 委員長 石野 時久
- 副委員長 大久保 守
- 委員 黒岩 敏行
- 委員 土屋 幸雄
- 委員 松本 幸
- 委員 伊藤 洋子

大久保 守

